

基本目標	1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	議員 氏名	
------	---	------------------------	----------	--

1 基本目標 4年間の総括（基本目標の評価）の妥当性の検証

●評価検証のポイント

「4年間の主な取組及び成果（戦略計画の評価）」から、中期計画4年間の評価の検証を行う。

【評価】 ☐概ね妥当

【理由があれば記載する】

4年間の主な取組及び成果（戦略計画の評価）

- ◆地域産業の持続可能な成長を目指し、産業振興と人材育成の拠点であるエス・バードの機能を活用して、地域産業の高付加価値化に取り組み、外貨獲得と域内発注・域内調達・域内消費による地域内経済循環を推進します。

<メモ>

- ◆新型コロナウイルス感染症に負けない地域産業を構築するために、新たなビジネスモデルへの転換や事業承継等に取り組む事業者を支援するとともに、「環境・エネルギー」「福祉・医療」分野の産業創出を進め、様々な分野における地域産業の将来を支える担い手、起業家の育成に取り組みます。

<メモ>

- ◆外貨を稼ぐ農業を振興するとともに、「農ある豊かな暮らし」が広がる取り組みを推進し、市民が農業の持つ多面的機能への理解を深め、地域が支える農業の実現を目指します。また、豊富な森林資源を活用する視点に立ち、地域産材や間伐材が有効活用される仕組みづくりに取り組みます。

<メモ>

- ◆アフターコロナにおける南信州地域全体の観光振興に向けて、遠山郷、天龍峡やリニア開業により玄関口となる中間駅周辺をはじめ、各地域が持つ特色ある資源を生かして、魅力づくりに取り組む人たちの支援するとともに、様々なニーズに対応できる「旅の目的地」となる魅力を発信することで人を呼び込み、観光消費を促し、結果として観光従事者が増えるなど地域経済の振興に繋がる取組を進めます。

<メモ>

- ◆多様な働き方を認め、働きやすい環境づくりを推進するために「ワークライフバランス改革」を企業とともに進めます。

<メモ>

◆コロナ禍における地方への移転と分散の動きをとらえて、産業用地等の整備やエス・バードの活用など、地域の強みを生かした企業・オフィス誘致に取り組みます。

<メモ>

2 後期計画における施策実施に際しての留意事項の妥当性の検証

●評価検証のポイント 「地域の環境変化」、「後期計画における施策実施に際しての課題認識」の妥当性と新たな視点があれば記載する。
【評価】 ☐概ね妥当 【新たな視点があれば記載する】 .

地域の環境変化
<メモ>

後期計画における施策の実施に際しての課題認識
<メモ>